



専門看護師 11分野1,883人に 施設や地域の看護の質の向上に貢献

公益社団法人日本看護協会（会長・坂本すが、会員71万人）は、このたび「第26回専門看護師認定審査」を実施しました。新たに200人が認定され、2016年12月末時点の専門看護師の総数は1,883人になりました。

専門看護師は、本会が実施する専門看護師認定審査に合格し、ある特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有することが認められた看護師です。本年度の認定審査は11分野で290人が申請し、一次審査（書類審査）を通過した254人が11月1日に二次審査（筆記試験）を受験しました。

医療・介護の提供体制が「病院完結型」から「地域完結型」へと変わる中、地域包括ケアシステムの構築におけるキーパーソンとして、今後もさらなる活躍が期待されます。

報道関係の皆さまにおかれましては、さまざまな機会にご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。

■第26回 専門看護師 認定審査結果

分野	合格者数 (人)	2016年12月末時点 専門看護師総数 (人)
がん看護	65	721
精神看護	35	267
急性・重症患者看護	14	225
小児看護	19	185
慢性疾患看護	21	151
老人看護	15	109
母性看護	4	67
家族支援	8	52
感染症看護	9	45
在宅看護	9	36
地域看護	1	25
全11分野 合計	200	1,883

News Release

報道関係者各位

2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■専門看護師とは

少子高齢化の進展や医療技術の高度化・専門分化、医療提供の場や患者ニーズが多様化する中、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するため、特定の専門看護分野の知識・技術を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。専門看護分野（p.10）ごとに本会が審査を行い認定しています。

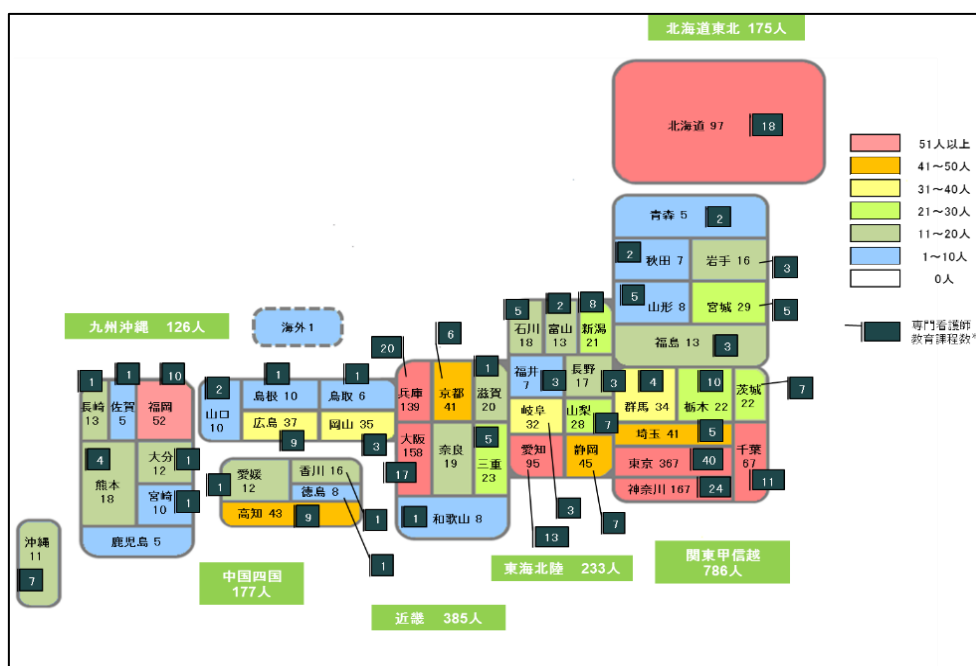
認定審査の受験資格は、看護師として5年以上の実践経験があり、看護系の大学院で修士課程を修了し、日本看護系大学協議会の定める専門看護師教育課程基準に必要な単位を取得していることが要件で、本会が行う専門看護師認定審査に合格し認定登録することで取得できます。

■専門看護師の役割

専門看護師は「実践」「相談」「調整」「倫理調整」「教育」「研究」の6つの役割が期待されます。活動を通して、所属する施設全体や地域の看護の質の向上に貢献しています。

役割	
実践	個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。
相談	看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。
調整	必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々間のコーディネーションを行う。
倫理調整	個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。
教育	看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。
研究	専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う。

■都道府県別の専門看護師数及び教育課程数(2016年12月末)



※専門看護師教育課程の認定は日本看護系大学協議会が行っています。2016年12月現在、専門看護師教育課程は13分野105大学院293課程です。

News Release

報道関係者各位

2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■分野別専門看護師教育課程数

分野	がん看護	精神看護	地域看護	老人看護	小児看護	母性看護	慢性疾患看護	急性・重症患者看護	感染症看護	家族支援	在宅看護	遺伝看護	災害看護
教育課程数	73	41	7	38	32	19	24	23	13	6	12	2	3

■専門看護師数の推移

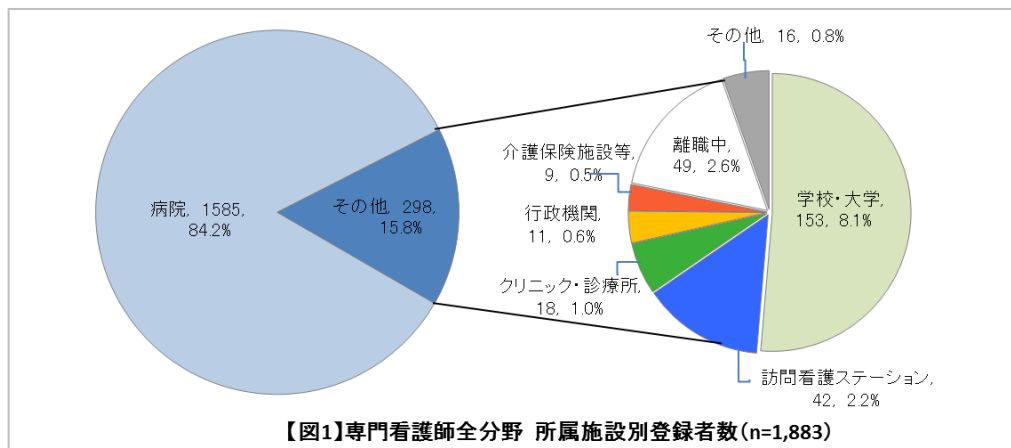
本会は、1996年に専門看護師の認定を開始し、20年を経て登録者総数は1,833人になりました。専門看護師は、資格取得後のレベル保持のため、5年ごとに資格の更新審査を行っています。更新審査では、過去5年間の看護実践、研修実績や研究業績などを審査しています。今回、1996年に資格を取得し20年間活躍し続けている専門看護師5人が、4回目の更新審査に合格しました。

年(西暦)	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
がん看護	4	5	7	7	9	15	18	32	45	58	79	104	129	193	250	329	435	515	586	657	721
精神看護	2	4	5	6	8	9	11	19	25	29	39	45	53	69	93	116	145	179	208	236	267
急性・重症患者看護										7	13	16	26	42	63	85	114	147	178	211	225
小児看護							6	9	12	16	17	22	27	40	56	73	96	119	142	166	185
慢性疾患看護									4	10	13	17	25	34	48	63	84	103	118	133	151
老人看護							3	5	6	9	10	13	14	24	32	41	55	66	79	94	109
母性看護								3	4	4	8	14	17	27	36	39	44	48	53	64	67
家族支援													3	5	8	14	21	29	37	44	52
感染症看護													1	1	1	4	9	15	22	30	32
在宅看護															3	4	5	11	16	24	27
地域看護		2	2	2	2	2	2	3	3	6	6	8	9	11	16	18	21	21	23	24	25
合計	6	11	14	15	19	26	40	71	99	139	186	240	304	452	615	798	1048	1273	1480	1694	1883

*各年12月末日の登録者数

■専門看護師の所属施設

専門看護師の所属施設は「病院」が最も多く、1,585人(84.2%)です。「その他」298人(15.8%)のうち、「学校・大学」が153人(8.1%)、「訪問看護ステーション」に42人(2.2%)が所属しています。



2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■分野別所属状況(人)

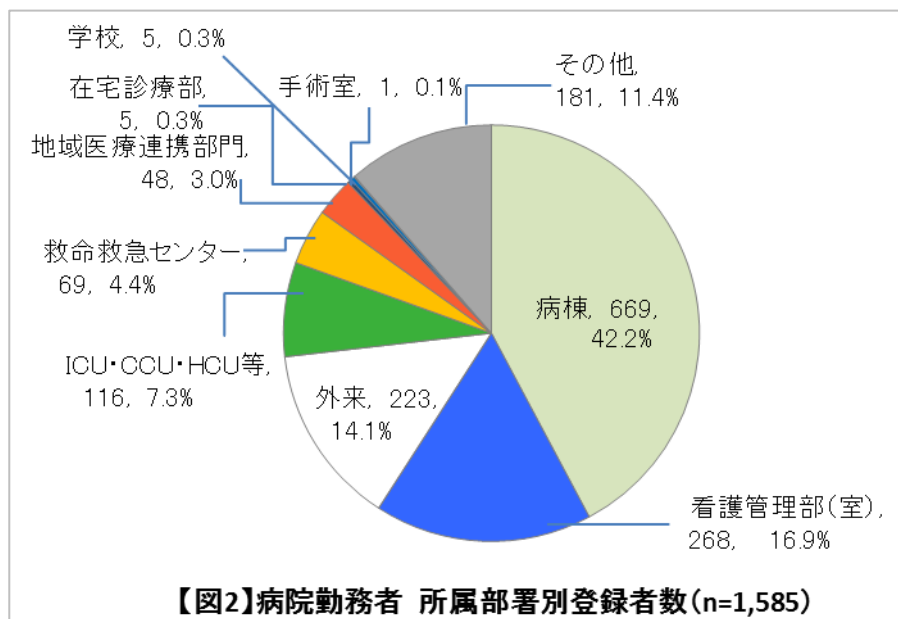
「訪問看護ステーション」に所属している専門看護師の分野は、在宅看護(15人)、がん看護(11人)、地域看護(5人)、精神看護(4人)、老人看護(3人)、慢性疾患看護(2人)、家族支援(2人)です。

国や県、市町村などの「行政機関」に所属している専門看護師の分野は、地域看護(7人)、がん看護(1人)、母性看護(1人)、小児看護(1人)、急性・重症患者看護(1人)です。また、「介護保険施設等」には、老人看護(8人)のほか、在宅看護(1人)の専門看護師が所属しています。

所属施設	分野										
	がん看護	精神看護	地域看護	老人看護	小児看護	母性看護	慢性疾患看護	急性・重症患者看護	感染症看護	家族支援	在宅看護
病院	632	218	7	85	155	56	127	206	41	44	14
訪問看護ステーション	11	4	5	3	0	0	2	0	0	2	15
行政機関	1	0	7	0	1	1	0	1	0	0	0
介護保険施設等	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1

■病院勤務者の所属部署

病院勤務者の所属部署は「病棟」が669人(42.2%)と最も多く、次いで「看護管理部(室)」268人(16.9%)、「外来」223人(14.1%)となっているほか、「地域医療連携部門」にも48人(3.0%)が所属しています。

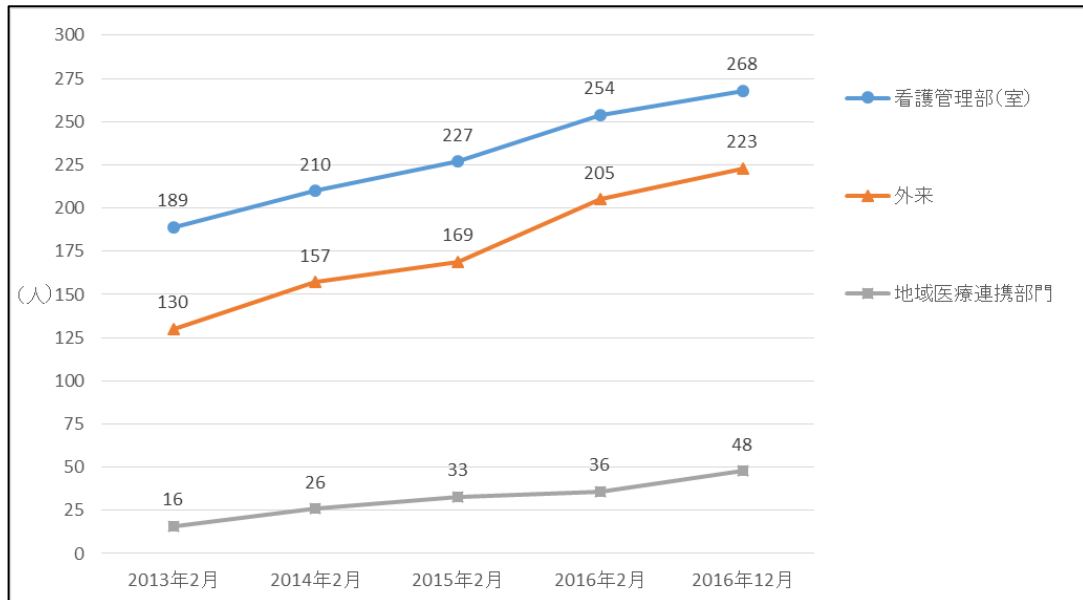


2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■「看護管理部」「外来」「地域医療連携部門」の所属人数の推移

病院の「看護管理部」「外来」「地域医療連携部門」の所属人数は以下の通りです。過去5年間の推移をみると、いずれの部署も年々所属者数は増加しています。



【図3】過去5年間の病院勤務者「看護管理部」「外来」「地域医療連携部門」の所属人数

■分野別：地域医療連携を担う専門看護師

地域包括ケアシステムの構築を推進していく上で、病院では「地域医療連携部門」や「外来」、地域では「クリニック・診療所」で専門看護師が活躍することが期待されています。

「地域医療連携部門」に所属している専門看護師（48人）は、前年より増加しています。分野は、がん看護（18人）、在宅看護（8人）、老人看護（7人）、小児看護（6人）、精神看護（3人）、家族支援（3人）、地域看護（2人）、慢性疾患看護（1人）と多岐にわたります。その他、外来や看護管理部に所属し、地域医療連携を担当している専門看護師もいます。

分野	地域医療連携部門	外来 (地域支援科等)	看護管理部 (地域医療連携担当)
がん看護	18	2	0
在宅看護	8	0	0
老人看護	7	0	1
小児看護	6	0	0
精神看護	3	2	0
家族支援	3	1	1
地域看護	2	0	0
慢性疾患看護	1	0	0
合計	48	5	2

News Release

報道関係者各位

2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■分野別：病院・クリニック別の所属状況

病院の「外来」に所属する専門看護師は223人で、がん看護が最も多く131人、次いで慢性疾患看護33人、精神看護が25人です。

「クリニック・診療所」に所属する専門看護師は18人で、最も多い分野は、がん看護で7人が所属しています。

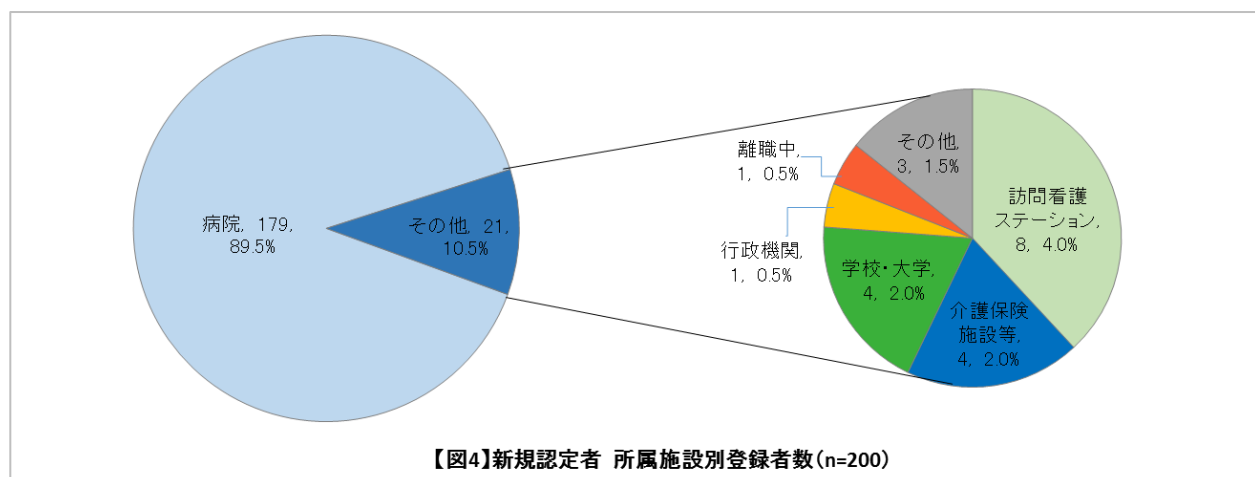
分野	病院の外来に所属する 専門看護師(人)	クリニック・診療所に所属する 専門看護師(人)	合計(人)
がん看護	131	7	138
慢性疾患看護	33	0	33
精神看護	25	3	28
小児看護	19	2	21
家族支援	5	0	5
老人看護	5	2	7
急性・重症患者看護	1	0	1
母性看護	2	2	4
感染症看護	1	0	1
地域看護	1	0	1
在宅看護	0	2	2
合計	223	18	241

※外来には救急外来は含まない

■新規認定者の所属施設

専門看護師の所属状況のうち、2016年に新規に認定された者の所属施設は「病院」が179人(89.5%)と最も多く、次いで「訪問看護ステーション」8人(4%)、「介護保険施設等」と「学校・大学」は同数で4人(2%)です。

「訪問看護ステーション」に所属している専門看護師8人の分野は、在宅看護(5人)、がん看護(2人)、家族支援(1人)です。また、「介護保険施設等」に所属している4人の専門看護師の分野は老人看護です。

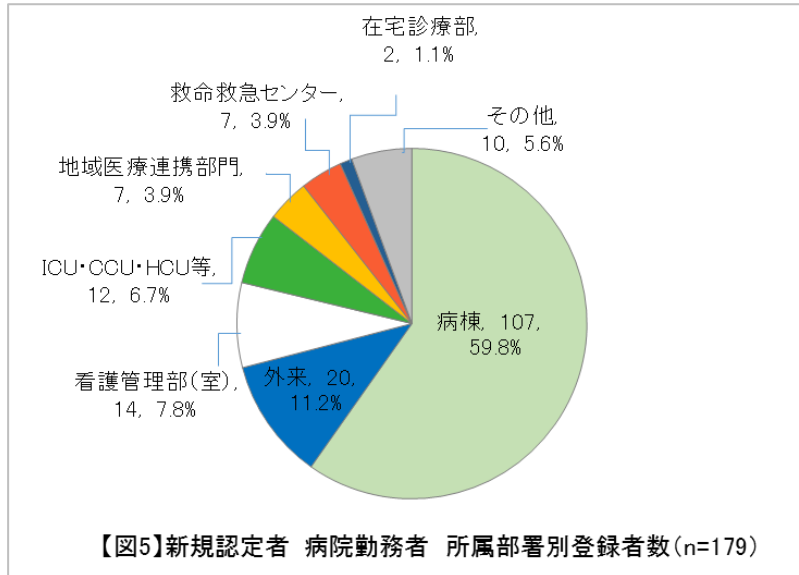


2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■病院勤務者の所属部署

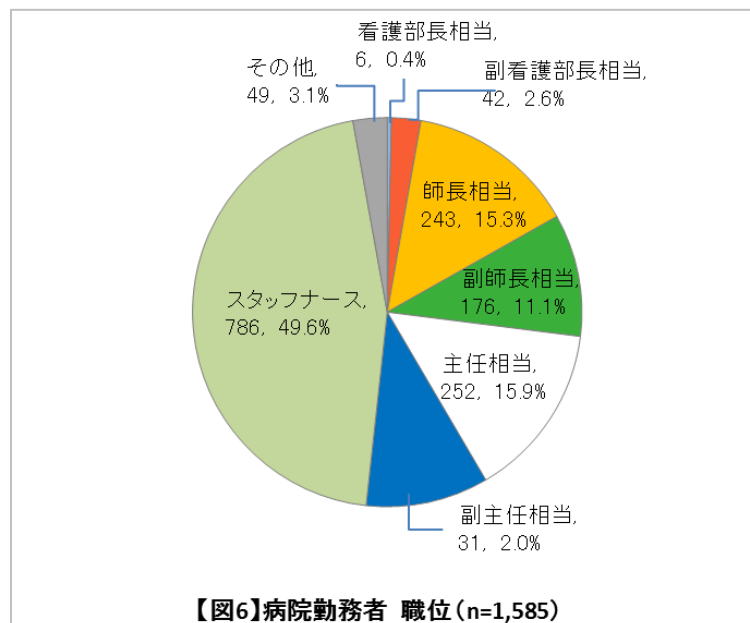
新規認定された専門看護師 200 人中、病院勤務者の所属部署は「病棟」107 人（59.8%）が最も多く、次いで「外来」20 人（11.2%）、「看護管理部（室）」14 人（7.8%）です。



病院勤務者で「外来」に所属する専門看護師 20 人の内訳は、がん看護（8 人）、精神看護（6 人）、慢性疾患看護（3 人）、小児看護（3 人）です。

■専門看護師の職位

病院勤務の専門看護師 1,585 人中、師長相当以上となる管理職の合計は 291 人（18.4%）でした。内訳は、「看護部長相当」6 人（0.4%）、「副看護部長相当」42 人（2.6%）、「師長相当」243 人（15.3%）です。



News Release

報道関係者各位

2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■病院に勤務する専門看護師の病床規模別にみた所属状況

2016年の病院施設数は8,480カ所であり、病床規模別で最も多いのは「50～99床」の2,127施設(25.1%)で「300床未満」が全体の82.1%を占めます。

専門看護師の病床規模別の所属状況は最も多いのが「900床以上」で285人、新規認定者で最も多いのは「400～499床」で36人です。新規認定者のうち「500床未満」で働く専門看護師は増加傾向にあります。

	病床数	全国の病院施設数 ※ (割合)	専門看護師の所属施設数 (所属割合)	専門看護師所属人数	うち2016年 新規認定者数
1	20～49	942(11.1%)	6(0.6%)	7	1
2	50～99	2127(25.1%)	11(0.5%)	14	4
3	100～149	1429(16.9%)	16(1.1%)	19	3
4	150～199	1338(15.8%)	38(2.8%)	42	5
5	200～299	1121(13.2%)	72(6.4%)	95	16
6	300～399	711(8.4%)	117(16.5%)	182	19
7	400～499	387(4.6%)	119(30.7%)	227	36
8	500～599	179(2.1%)	88(49.2%)	192	15
9	600～699	106(1.3%)	79(72.5%)	237	28
10	700～799	54(0.6%)	42(77.8%)	162	11
11	800～899	31(0.4%)	26(83.9%)	123	12
12	900床以上	55(0.6%)	46(83.6%)	285	29
	計	8,480	660(7.8%)	1,585	179

※出典：厚生労働省：医療施設動態調査(2015年10月1日概数)

News Release

報道関係者各位

2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■設置主体別にみた専門看護師の所属状況

全国の病院 8,480 施設を設置主体別にみると、医療法人が 5,737 と最も多く、全体の 67.7%です。

一方、専門看護師の所属状況を設置主体別にみると、最も多いのは「私立学校法人」で 267 人、次いで「国立大学法人」175 人、「医療法人」174 人です。新規認定者では、最も多いのは「私立学校法人」29 人、次いで「医療法人」25 人、「国立大学法人」19 人です。

	設置主体名	全国施設数※ (割合)	専門看護師 所属施設数 (所属割合)	専門看護師 所属人数	うち 2016 年 新規認定者数
1	医療法人	5737(67.7%)	125(2.2%)	174	25
2	公立大学法人	849(10.0%)	11(1.3%)	48	3
3	都道府県		60(7.1%)	147	12
4	市町村		73(8.6%)	120	17
5	公益法人／その他の法人	429(5.1%)	47(11.0%)	115	17
6	個人	266(3.1%)	1(0.4%)	1	0
7	社会福祉法人	201(2.4%)	14(7.0%)	36	2
8	独立行政法人国立病院機構	143(1.7%)	37(25.9%)	63	5
9	私立学校法人	111(1.3%)	58(52.3%)	267	29
10	厚生連	106(1.3%)	20(18.9%)	30	3
11	地方独立行政法人	94(1.1%)	42(44.7%)	128	14
12	日赤	92(1.1%)	41(44.6%)	103	11
13	医療生協	83(1.0%)	2(2.4%)	2	0
14	済生会	79(0.9%)	21(26.6%)	35	5
15	独立行政法人 地域医療機能推進機構	57(0.7%)	13(22.8%)	21	2
16	会社	49(0.6%)	10(20.4%)	17	2
17	国立大学法人	48(0.6%)	41(85.4%)	175	19
18	共済組合及びその他連合会	45(0.5%)	17(37.8%)	31	2
19	独立行政法人 労働者健康安全機構	34(0.4%)	14(41.2%)	21	4
20	国(その他)	25(0.3%)	2(8.0%)	3	0
21	国立(厚生労働省)	14(0.2%)	1(7.1%)	1	1
22	健康保険組合及びその連合会	9(0.1%)	3(33.3%)	3	1
23	国立高度専門医療研究センター	8(0.1%)	7(87.5%)	44	5
24	国民健康保険組合	1(0.0%)	0(0.0%)	0	0
	計	8,480	660(7.8%)	1,585	179

※出典：厚生労働省：医療施設動態調査(2015年10月1日概数)

News Release

報道関係者各位

2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■専門看護分野一覧

専門看護師専門看護分野は現在、以下の13分野が特定されています。

専門看護分野	特定年	専門看護分野の特徴
がん看護	1995	がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL（生活の質）の視点に立った水準の高い看護を提供する。
精神看護	1995	精神疾患患者に対して高度な看護を提供する。また、一般病院でも心のケアを行う「リエゾン精神看護」の役割を提供する。
地域看護	1997	産業保健、学校保健、保健行政、在宅ケアのいずれかの領域において水準の高い看護を提供し、地域の保健医療福祉の発展に貢献する。
老人看護	2001	高齢者が入院・入所・利用する施設において、認知症や嚥下障害などをはじめとする複雑な健康問題を持つ高齢者のQOLを向上させるために高度な看護を提供する。
小児看護	2001	子どもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供する。
母性看護	2002	女性と母子に対する専門看護を行う。主たる役割は、周産期母子援助、女性の健康への援助に分けられる。
慢性疾患看護	2003	生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する高度な看護を行う。
急性・重症患者看護	2004	緊急度や重症度の高い患者に対して集中的な看護を提供し、患者本人とその家族の支援、医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるよう支援する。
感染症看護	2006	施設や地域における個人や集団の感染予防と発生時の適切な対策に従事するとともに感染症の患者に対して高度な看護を提供する。
家族支援	2008	患者の回復を促進するために家族を支援する。患者を含む家族本来のセルフケア機能を高め、主体的に問題解決できるよう身体的、精神的、社会的に支援し、水準の高い看護を提供する。
在宅看護	2012	在宅で療養する対象者及びその家族が、個々の生活の場で日常生活を送りながら在宅療養を続けることを支援する。また、在宅看護における新たなケアシステムの構築や既存のケアサービスの連携促進を図り、水準の高い看護を提供する。
遺伝看護*	2016	対象者の遺伝的課題を見極め、診断・予防・治療に伴う意思決定支援と、QOL向上を目指した生涯にわたる療養生活支援を行い、世代を超えて必要な医療・ケアを受けることができる体制の構築とゲノム医療の発展に貢献する。
災害看護*	2016	災害の特性をふまえ、限られた人的・物的資源の中でメンタルヘルスを含む適切な看護を提供する。平時から多職種や行政等と連携・協働し、減災・防災体制の構築と災害看護の発展に貢献する。

※2016年11月に、新たに専門看護分野として特定されました。

「遺伝看護専門看護師」「災害看護専門看護師」は2017年に誕生する見込みです。

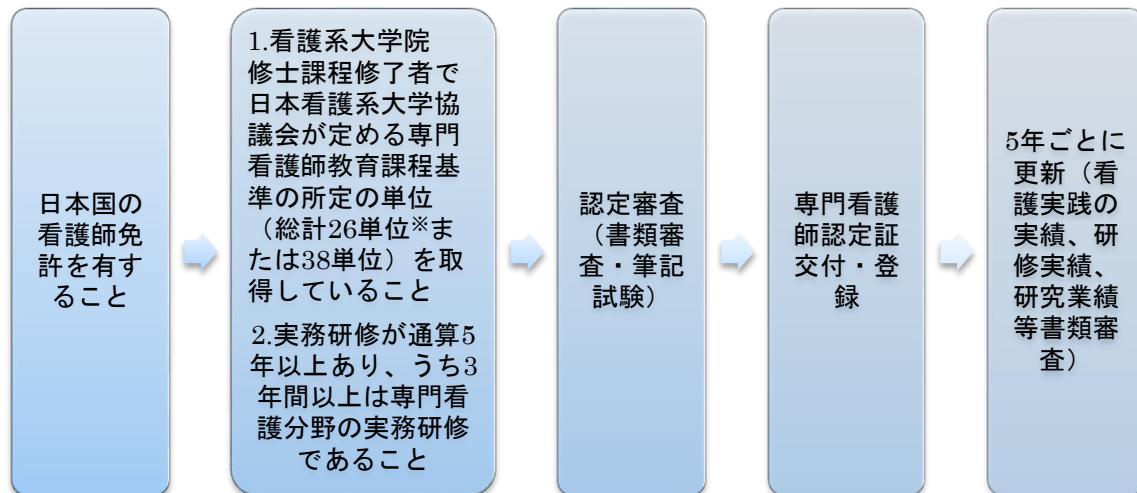
2017年2月1日

公益社団法人 日本看護協会 広報部

■専門看護師になるには

看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了し、必要な単位を取得した者が専門看護師認定審査に合格することで取得できます。審査合格後は、専門看護師としての活動実績と自己研鑽を重ね、5年ごとに資格を更新しています。

■認定システム



※2020年をもって26単位の教育課程は終了し、以後38単位の教育課程のみになります。専門看護師認定審査は2023年度まで26単位で受験申請が可能です。

専門看護師制度は、日本看護系大学協議会と連携し運営しています。日本看護系大学協議会は、教育課程の特定、教育課程の認定・認定更新を行っています。本会は、専門看護分野の特定、認定審査・認定更新審査等を行っています。

■ 本会公式ホームページの「ホーム」 > 「専門看護師・認定看護師・認定看護管理者」 > 「専門看護師」に専門看護師に関する情報を掲載しています。

専門看護師教育課程基準については日本看護系大学協議会ホームページ参照

<http://www.janpu.or.jp/>

教育機関一覧

<http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns#educinst>

認定審査

http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/probation_guide_cns#approval_probation

専門看護師登録者一覧

<http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx>

更新審査

http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/probation_guide_cns#update_probation